

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Junichi MINATO

GAU: 2173

SERIAL NO: 10/658,273

EXAMINER:

FILED: September 10, 2003

FOR: IMAGE FORMING APPARATUS, SHARED DATA MANAGEMENT METHOD AND SHARED DATA MANAGEMENT SYSTEM

REQUEST FOR PRIORITY

COMMISSIONER FOR PATENTS
ALEXANDRIA, VIRGINIA 22313

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date(s) of U.S. Provisional Application(s) is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e): Application No. Date Filed
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2002-275979	September 20, 2002
JAPAN	2002-275980	September 20, 2002
JAPAN	2003-296580	August 20, 2003

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
- ☐ (B) Application Serial No.(s)
☐ are submitted herewith
☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.

Marvin J. Spivak

Registration No. 24,913

Joseph A. Scafetta, Jr.
Registration No. 26, 803

Customer Number

22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 05/03)

10/658,273

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 9 月 2 0 日
Date of Application:

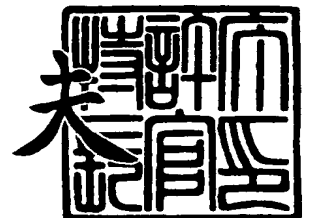
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 2 7 5 9 7 9
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 2 7 5 9 7 9]

出 願 人 株 式 会 社 リ コ ー
Applicant(s):

2 0 0 3 年 7 月 1 8 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 5 7 7 3 0

【書類名】 特許願

【整理番号】 0206298

【提出日】 平成14年 9月20日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 G06F 12/02
G03G 15/00

【発明の名称】 画像形成装置、共有データ管理方法および共有データ管理システム

【請求項の数】 28

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

【氏名】 湊 順一

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

【識別番号】 100070150

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊東 忠彦

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 002989

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像形成装置、共有データ管理方法および共有データ管理システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像形成処理で使用するハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、

前記共有データの更新が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留し、

前記共有データの更新が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】 前記共有データ管理手段は、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止したあと、前記 1 つ以上のプログラムに前記共有データの更新開始を通知する一方、

前記共有データに対する更新終了要求を受信すると前記共有データの取得を可能とすると共に、前記プログラムに前記共有データの更新終了を通知することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】 前記共有データ管理手段は、前記共有データに対する更新開始要求を、外部のネットワーク端末から受信することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 4】 画像形成処理で使用するハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、

前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する取得開始要求を受信すると前記取得開始要求を保留し、

前記共有データの取得が可能となると、前記保留した取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】 前記共有データ管理手段は、前記保留した取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止したあと、前記プログラムからの要求に応じて前記共有データを供給することを特徴とする請求項 4 記載の画像形成装置。

【請求項 6】 前記共有データ管理手段は、前記共有データに対する取得開始要求を、外部のネットワーク端末から受信することを特徴とする請求項 4 記載の画像形成装置。

【請求項 7】 画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、

前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留し、

前記共有データの取得が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 8】 前記共有データ管理手段は、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止したあと、前記 1 つ以上のプログラムに前記共有データの更新開始を通知する一方、

前記共有データに対する更新終了要求を受信すると前記共有データの取得を可能とすると共に、前記プログラムに前記共有データの更新終了を通知することを特徴とする請求項 7 記載の画像形成装置。

【請求項 9】 前記共有データ管理手段は、前記共有データに対する更新開始要求を、外部のネットワーク端末から受信することを特徴とする請求項 7 記載の画像形成装置。

【請求項 10】 画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、

一のプログラムからの前記共有データに対する取得開始要求に応じて前記共有データの更新が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する更新開始要求を受信すると、前記共有データの更新を可能とし、前記更

新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 11】 前記共有データ管理手段は、前記更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止したあと、前記 1 つ以上のプログラムに前記共有データの更新開始を通知する一方、

前記共有データに対する更新終了要求を受信すると前記共有データの取得を可能とすると共に、前記 1 つ以上のプログラムに前記共有データの更新終了を通知することを特徴とする請求項 10 記載の画像形成装置。

【請求項 12】 前記共有データ管理手段は、前記共有データに対する取得終了要求を省略することを特徴とする請求項 10 記載の画像形成装置。

【請求項 13】 前記共有データ管理手段は、前記共有データに対する取得開始要求および更新開始要求を、外部のネットワーク端末から受信することを特徴とする請求項 10 記載の画像形成装置。

【請求項 14】 画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、

一のプログラムからの前記共有データに対する更新開始要求に応じて前記共有データの取得が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する取得開始要求を受信すると、前記共有データの取得を可能とし、前記取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 15】 前記共有データ管理手段は、前記更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止したあと、前記 1 つ以上のプログラムに前記共有データの更新開始を通知する一方、

前記取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止したあと、前記 1 つ以上のプログラムに前記共有データの更新終了を通知することを特徴とする請求項 14 記載の画像形成装置。

【請求項 16】 前記共有データ管理手段は、前記共有データに対する更新終了要求を省略することを特徴とする請求項 14 記載の画像形成装置。

【請求項 17】 前記共有データ管理手段は、前記共有データに対する取得開始要求および更新開始要求を、外部のネットワーク端末から受信することを特徴とする請求項 14 記載の画像形成装置。

【請求項 18】 前記共有データは、前記プログラムが利用する宛先データであることを特徴とする請求項 1 乃至 17 何れか一項記載の画像形成装置。

【請求項 19】 画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、

前記共有データの更新が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留する段階と、

前記共有データの更新が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する段階と

を有することを特徴とする共有データ管理方法。

【請求項 20】 画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、

前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する取得開始要求を受信すると前記取得開始要求を保留する段階と、

前記共有データの取得が可能となると、前記保留した取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する段階と

を有することを特徴とする共有データ管理方法。

【請求項 21】 画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、

前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留する段階と、

前記共有データの取得が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する段階と

を有することを特徴とする共有データ管理方法。

【請求項 2 2】 画像形成処理で⁴使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、

一のプログラムからの前記共有データに対する取得開始要求に応じて前記共有データの更新が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記共有データの更新を可能とする段階と、

前記更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する段階とを有することを特徴とする共有データ管理方法。

【請求項 2 3】 画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う 1 つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、

一のプログラムからの前記共有データに対する更新開始要求に応じて前記共有データの取得が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する取得開始要求を受信すると前記共有データの取得を可能とする段階と、

前記取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する段階とを有することを特徴とする共有データ管理方法。

【請求項 2 4】 1 つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、

前記画像形成装置は、前記共有データの更新が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留し、

前記共有データの更新が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする共有データ管理システム。

【請求項 2 5】 1 つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、

前記画像形成装置は、前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する取得開始要求を受信すると前記取得開始要求を保留し、

前記共有データの取得が可能となると、前記保留した取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする共有データ管理システム。

【請求項 26】 1つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、

前記画像形成装置は、前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留し、

前記共有データの取得が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする共有データ管理システム。

【請求項 27】 1つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、

前記画像形成装置は、一のプログラムからの前記共有データに対する取得開始要求に応じて前記共有データの更新が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する更新開始要求を受信すると、前記共有データの更新を可能とし、前記更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする共有データ管理システム。

【請求項 28】 1つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、

前記画像形成装置は、一のプログラムからの前記共有データに対する更新開始要求に応じて前記共有データの取得が禁止されているときに、前記一のプログラ

ムから前記共有データに対する取得開始要求を受信すると、前記共有データの取得を可能とし、前記取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする共有データ管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像形成装置、共有データ管理方法および共有データ管理システムに係り、特に書き換え可能な共有データを管理する画像形成装置、共有データ管理方法および共有データ管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、プリンタ、コピー、ファクシミリおよびスキャナなどの各装置の機能を1つの筐体内に収納した画像形成装置（以下、融合機という）が知られるようになった。この融合機は、1つの筐体内に表示部、印刷部および撮像部などを設けると共に、プリンタ、コピー、ファクシミリおよびスキャナにそれぞれ対応する4種類のソフトウェアを設け、そのソフトウェアを切り替えることより、プリンタ、コピー、ファクシミリおよびスキャナとして動作させるものである。

【0003】

このような融合機では、コピーやスキャナ等で利用する電子メールアドレスやファクシミリ番号などの宛先データがユーザ情報として一元管理されている。融合機により一元管理されているユーザ情報は、融合機を操作するオペレータからの指示により適宜更新される。また、融合機は、例えばネットワークを介してネットワーク機器に接続されており、ネットワーク機器からの指示により、ユーザ情報が適宜更新される。

【0004】

融合機により一元管理されているユーザ情報は、融合機またはネットワーク機器を操作する1人以上のオペレータからの要求により更新されるため、複数のオペレータから同時にユーザ情報を更新される可能性があった。

【0005】

また、ユーザ情報はコピーやスキャナ等に対応するソフトウェアにより利用されているときに、融合機またはネットワーク機器を操作するオペレータが更新する可能性もあった。

【0006】

さらに、ユーザ情報は融合機またはネットワーク機器を操作するオペレータにより更新されているときに、コピーやスキャナ等に対応するソフトウェアにより利用される可能性もあった。

【0007】

そこで、従来の融合機は一のオペレータがユーザ情報を更新しているとき、他のオペレータからのユーザ情報の更新要求や、コピーやスキャナ等に対応するソフトウェアからのユーザ情報の取得要求を排他していた。また、従来の融合機はコピーやスキャナ等に対応するソフトウェアがユーザ情報を利用しているとき、オペレータからのユーザ情報の更新要求を排他していた。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】

従来の融合機では、ユーザ情報の更新要求や取得要求が排他された場合、先に行われていたユーザ情報の更新または利用が終了するのを待って、再びユーザ情報の更新要求や取得要求を行っていた。

【0009】

したがって、従来の融合機ではユーザ情報の更新要求や取得要求が連続して排他されたときに、ユーザ情報の更新要求や取得要求を何度も繰り返し行わなければユーザ情報の更新または利用を行えないという問題があった。

【0010】

また、従来の融合機ではユーザ情報の更新要求や取得要求が連続して排他されたときに、ユーザ情報の更新要求や取得要求が多数発生して融合機のリソースを無駄に浪費しているという問題があった。

【0011】

本発明は、上記の点に鑑みなされたもので、共有データの更新要求や取得要求を効率的に行うことができ、融合機のリソースを浪費することなく書き換え可能

な共有データを管理することが可能な画像形成装置、共有データ管理方法および共有データ管理システムを提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】

そこで、上記課題を解決するため、本発明は、画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、前記共有データの更新が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留し、前記共有データの更新が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0013】

また、本発明は、画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する取得開始要求を受信すると前記取得開始要求を保留し、前記共有データの取得が可能となると、前記保留した取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0014】

また、本発明は、画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留し、前記共有データの取得が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0015】

また、本発明は、画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に

係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、一のプログラムからの前記共有データに対する取得開始要求に応じて前記共有データの更新が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する更新開始要求を受信すると、前記共有データの更新を可能とし、前記更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0016】

また、本発明は、画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置であって、一のプログラムからの前記共有データに対する更新開始要求に応じて前記共有データの取得が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する取得開始要求を受信すると、前記共有データの取得を可能とし、前記取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0017】

また、本発明は、画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、前記共有データの更新が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留する段階と、前記共有データの更新が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する段階とを有することを特徴とする。

【0018】

また、本発明は、画像形成処理で使用されるハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する取得開始要求を受信すると前記取得開始要求を保留する段階と、前記共有データの取得が可能となると、前記保留した取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する

段階とを有することを特徴とする。

【0019】

また、本発明は、画像形成処理で使用するハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留する段階と、前記共有データの取得が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する段階とを有することを特徴とする。

【0020】

また、本発明は、画像形成処理で使用するハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、一のプログラムからの前記共有データに対する取得開始要求に応じて前記共有データの更新が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記共有データの更新を可能とする段階と、前記更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する段階とを有することを特徴とする。

【0021】

また、本発明は、画像形成処理で使用するハードウェア資源と、画像形成に係る処理を行う1つ以上のプログラムと、前記プログラムが利用する書き換え可能な共有データとを有する画像形成装置の共有データ管理方法であって、一のプログラムからの前記共有データに対する更新開始要求に応じて前記共有データの取得が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する取得開始要求を受信すると前記共有データの取得を可能とする段階と、前記取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する段階とを有することを特徴とする。

【0022】

また、本発明は、1つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワ

ーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、前記画像形成装置は、前記共有データの更新が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留し、前記共有データの更新が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0023】

また、本発明は、1つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、前記画像形成装置は、前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する取得開始要求を受信すると前記取得開始要求を保留し、前記共有データの取得が可能となると、前記保留した取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0024】

また、本発明は、1つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、前記画像形成装置は、前記共有データの取得が禁止されているときに、前記共有データに対する更新開始要求を受信すると前記更新開始要求を保留し、前記共有データの取得が可能となると、前記保留した更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0025】

また、本発明は、1つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有デ

ータ管理システムであって、前記画像形成装置は、一のプログラムからの前記共有データに対する取得開始要求に応じて前記共有データの更新が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する更新開始要求を受信すると、前記共有データの更新を可能とし、前記更新開始要求に応じて前記共有データの取得を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0026】

また、本発明は、1つ以上の外部のネットワーク機器と、前記外部のネットワーク機器にネットワークを介して接続された画像形成装置とを用いて、前記画像形成装置のプログラムが利用する書き換え可能な共有データの管理を行う共有データ管理システムであって、前記画像形成装置は、一のプログラムからの前記共有データに対する更新開始要求に応じて前記共有データの取得が禁止されているときに、前記一のプログラムから前記共有データに対する取得開始要求を受信すると、前記共有データの取得を可能とし、前記取得開始要求に応じて前記共有データの更新を禁止する共有データ管理手段を有することを特徴とする。

【0027】

本発明によれば、共有データの更新要求や取得要求が無駄に行われることを回避することで、共有データの更新要求や取得要求を効率的に行うことができ、融合機のリソースを浪費することなく書き換え可能な共有データを管理することが可能な画像形成装置、共有データ管理方法および共有データ管理システムを提供できる。

【0028】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について図面に基づいて説明する。

【0029】

図1は、本発明による融合機の一実施例の構成図である。融合機1は、ソフトウェア群2と、融合機起動部3と、ハードウェア資源4とを含むように構成される。

【0030】

融合機起動部3は融合機1の電源投入時に最初に実行され、アプリケーション

層 5 およびプラットフォーム 6 を起動する。"例えば融合機起動部 3 は、アプリケーション層 5 およびプラットフォーム 6 のプログラムをハードディスク装置（以下、HDD という）などから読み出し、読み出した各プログラムをメモリ領域に転送して起動する。

【0031】

ハードウェア資源 4 は、白黒レーザプリンタ（B&W LP）11 と、カラーレーザプリンタ（Color LP）12 と、スキャナやファクシミリなどのその他のハードウェアリソース 13 とを含む。

【0032】

また、ソフトウェア群 2 は、UNIX（登録商標）などのオペレーティングシステム（以下、OS という）上に起動されているアプリケーション層 5 とプラットフォーム 6 とを含む。

【0033】

アプリケーション層 5 は、プリンタ、コピー、ファックスおよびスキャナなどの画像形成にかかるユーザサービスにそれぞれ固有の処理を行うプログラムを含む。アプリケーション層 5 は、プリンタアプリ 21 と、コピーアプリ 22 と、ファックスアプリ 23 と、スキャナアプリ 24 と、ネットファイルアプリ 25 とを含む。なお、ネットファイルアプリ 25 はネットワークファイル用アプリケーションであり、融合機 1 にネットワークを介して接続されるネットワーク機器とのデータ通信を管理するものである。

【0034】

また、プラットフォーム 6 は、アプリケーション層 5 からの処理要求を解釈してハードウェア資源 4 の獲得要求を発生するコントロールサービス層 9 と、1 つ以上のハードウェア資源 4 の管理を行ってコントロールサービス層 9 からの獲得要求を調停するシステムリソースマネージャ（以下、SRM という）39 と、SRM 39 からの獲得要求に応じてハードウェア資源 4 の管理を行うハンドラ層 10 とを含む。

【0035】

コントロールサービス層 9 は、ネットワークコントロールサービス（以下、N

CSという) 31, デリバリーコントロールサービス (以下、DCSという) 32, オペレーションパネルコントロールサービス (以下、OCSという) 33, ファックスコントロールサービス (以下、FCSという) 34, エンジンコントロールサービス (以下、ECSという) 35, メモリコントロールサービス (以下、MCSという) 36, ユーザインフォメーションコントロールサービス (以下、UCSという) 37, システムコントロールサービス (以下、SCSという) 38など、一つ以上のサービスモジュールを含むように構成されている。

【0036】

なお、プラットフォーム6は予め定義されている関数により、アプリケーション層5からの処理要求を受信するAPI53を有するように構成されている。OSは、アプリケーション層5およびプラットフォーム6の各ソフトウェアをプロセスとして並列実行する。

【0037】

NCS31のプロセスは、ネットワーク側から各プロトコルによって受信したデータを各アプリケーションに振り分けたり、各アプリケーションからのデータをネットワーク側に送信する際の仲介を行う。例えばNCS31は、融合機にネットワークを介して接続されるネットワーク機器とのデータ通信を制御する。

【0038】

DCS32のプロセスは、融合機に蓄積されている文書データの配送などの制御を行う。OCS33のプロセスは、オペレータと本体制御との間の情報伝達手段となるオペレーションパネルの制御を行う。FCS34のプロセスは、アプリケーション層5からPSTNまたはISDN網を利用したファックス送受信、バックアップ用のメモリで管理されている各種ファックスデータの登録/引用、ファックス読み取り、ファックス受信印刷などを行うためのAPIを提供する。

【0039】

ECS35のプロセスは、白黒レーザプリンタ11, カラーレーザプリンタ12, ハードウェアリソース13などのエンジン部の制御を行う。MCS36のプロセスは、メモリの取得および解放, HDDの利用, 画像データの圧縮および伸張などのメモリ制御を行う。UCS37のプロセスは、ユーザ情報の管理を行う

ものである。

【0040】

SCS38のプロセスは、アプリケーション管理、操作部制御、システム画面表示、LED表示、ハードウェア資源管理、割り込みアプリケーション制御などの処理を行う。

【0041】

SRM39のプロセスは、SCS38と共にシステムの制御およびハードウェア資源4の管理を行うものである。例えばSRM39のプロセスは、白黒レーザープリンタ11やカラーレーザープリンタ12などのハードウェア資源4を利用する上位層からの獲得要求に従って調停を行い、実行制御する。

【0042】

具体的に、SRM39のプロセスは獲得要求されたハードウェア資源4が利用可能であるか（他の獲得要求により利用されていないかどうか）を判定し、利用可能であれば獲得要求されたハードウェア資源4が利用可能である旨を上位層に通知する。また、SRM39のプロセスは上位層からの獲得要求に対してハードウェア資源4を利用するためのスケジューリングを行い、要求内容（例えば、プリンタエンジンによる紙搬送と作像動作、メモリ確保、ファイル生成など）を直接実施している。

【0043】

また、ハンドラ層10は後述するファックスコントロールユニット（以下、FCUという）の管理を行うファックスコントロールユニットハンドラ（以下、FCUHという）40と、プロセスに対するメモリの割り振り及びプロセスに割り振ったメモリの管理を行うイメージメモリハンドラ（以下、IMHという）41とを含む。

【0044】

SRM39およびFCUH40は、予め定義されている関数によりハードウェア資源4に対する処理要求を送信するエンジンI/F54を利用して、ハードウェア資源4に対する処理要求を行う。

【0045】

図1の構成により、融合機1は各アプリケーションで共通的に必要な処理をプラットフォーム6で一元的に処理することができる。次に、融合機1のハードウェア構成について説明する。

【0046】

図2は、本発明による融合機の一実施例のハードウェア構成図である。融合機1は、コントローラ60と、オペレーションパネル70と、FCU80と、USBデバイス90と、IEEE1394デバイス100と、エンジン部110とを含む。

【0047】

また、コントローラ60は、CPU61と、システムメモリ(MEM-P)62と、ノースブリッジ(以下、NBという)63と、サウスブリッジ(以下、SBという)64と、ASIC66と、ローカルメモリ(MEM-C)67と、HDD68およびネットワークインターフェースコントローラ69とを含む。

【0048】

オペレーションパネル70は、コントローラ60のASIC66に接続されている。また、FCU80、USBデバイス90、IEEE1394デバイス100およびエンジン部110は、コントローラ60のASIC66にPCIバスで接続されている。

【0049】

コントローラ60は、ASIC66にローカルメモリ67、HDD68およびネットワークインターフェースコントローラ69などが接続されると共に、CPU61とASIC66とがCPUチップセットのNB63を介して接続されている。このように、NB63を介してCPU61とASIC66とを接続することにより、CPU61のインターフェースが公開されていない場合に対応する。

【0050】

なお、ASIC66とNB63とはPCIバスを介して接続されているのではなく、AGP(Accelerated Graphics Port)65を介して接続されている。このように、図1のアプリケーション層5やプラットフォーム6を形成する一つ以上のプロセスを実行制御するため、ASIC66とNB63とを低速のPCIバス

でなくAGP65を介して接続し、パフォーマンスの低下を防いでいる。

【0051】

CPU61は、融合機1の全体制御を行うものである。CPU61は、NCS31、DCS32、OCS33、FCS34、ECS35、MCS36、UCS37、SCS38、SRM39、FCUH40およびIMH41をOS上にそれぞれプロセスとして起動して実行させると共に、アプリケーション層5を形成するプリンタアプリ21、コピーアプリ22、ファックスアプリ23、スキャナアプリ24、ネットファイルアプリ25を起動して実行させる。

【0052】

NB63は、CPU61、システムメモリ62、SB64およびASIC66を接続するためのブリッジである。システムメモリ62は、融合機1の描画用メモリなどとして用いるメモリである。SB64は、NB63とROM、PCIバス、周辺デバイスとを接続するためのブリッジである。また、ローカルメモリ67はコピー用画像バッファ、符号バッファとして用いるメモリである。

【0053】

ASIC66は、画像処理用のハードウェア要素を有する画像処理用途向けのICである。HDD68は、画像データの蓄積、文書データの蓄積、プログラムの蓄積、フォントデータの蓄積、フォームの蓄積などを行うためのストレージである。ネットワークインターフェースコントローラ69は、ネットワークを介して接続されているネットワーク機器とMACアドレスなどを用いて通信する。また、オペレーションパネル70は、オペレータからの入力操作を受け付けると共に、オペレータに向けた表示を行う操作部である。

【0054】

以下、融合機1により実現される共有データ管理方法について図面を参照しつつ説明していく。図3は、本発明による共有データ管理方法を説明するためのシステム構成図である。なお、図3では説明に必要な構成を省略している。

【0055】

UCS37は、共有データの一例としてのユーザ情報を一元管理している。例えばUCS37は、ユーザ情報をHDD68に格納して管理する。UCS37が

管理するユーザ情報は、例えば図4のように構成される。

【0056】

図4は、ユーザ情報の一例の構成図である。図4のユーザ情報は、エントリID件数、見出し情報、ユーザコード情報、メール情報、ファックス情報、グループ情報、中継情報、認証情報、並び順入れ換え情報をデータ項目として含む。

【0057】

データ項目「エントリID件数」は、融合機1に登録できるエントリの件数を表す。例えばエントリID件数が100の場合、100人のオペレータを登録できる。

【0058】

データ項目「見出し情報」は、登録されたエントリを分類して表示するための見出しを表す。例えば見出し情報が「あ、か、さ、た、・・・」の場合、エントリは見出し「あ、か、さ、た、・・・」により分類されて表示される。データ項目「ユーザコード情報」は、オペレータを識別するための識別情報を表す。

【0059】

データ項目「メール情報」は、スキャナアプリ24が利用する電子メールアドレスを表す。また、データ項目「ファックス情報」はファックスアプリ23が利用するファックス番号を表す。

【0060】

データ項目「グループ情報」は、エントリをグループ化するためのメンバIDリストを表す。例えばメンバIDリストは、そのグループに所属するオペレータのエントリIDで構成される。データ項目「中継情報」は、ファックスデータを中継するための情報を表す。

【0061】

データ項目「認証情報」は、スキャナアプリ24がスキャナデータを送信するために必要な例えばパスワードなどの情報を表す。データ項目「並び順入れ替え情報」は、ユーザ情報の並び順を入れ替え可能か否かを表す情報である。図4のユーザ情報は、融合機1の有する機能（コピー機能、ファックス機能、スキャナ機能など）の組み合わせにより構成が異なっている。

【0062】

図3のファックスアプリ23は、UCS37にユーザ情報の取得要求を行うことでファックス機能に必要なユーザ情報を取得し、取得したユーザ情報を用いてオペレーションパネル70に画面310を表示する。画面310には、ファックスデータを送信する宛先データ（例えばファックス番号）を選択するための情報が表示される。

【0063】

スキャナアプリ24は、UCS37にユーザ情報の取得要求を行うことでスキャナ機能に必要なユーザ情報を取得し、取得したユーザ情報を用いてオペレーションパネル70に画面320を表示する。画面320には、スキャナデータを送信する宛先データ（例えば電子メールアドレス）を選択するための情報が表示される。

【0064】

SCS38のシステム初期設定機能302は、UCS37にユーザ情報の取得要求を行うことで必要なユーザ情報を取得する。また、ネットファイルアプリ25はNCS31およびネットワーク330を介して接続されるネットワーク機器331、332からの要求に応じてUCS37にユーザ情報の取得要求を行うことで必要なユーザ情報を取得する。なお、SCS38のソフトキーボード機能301はオペレーションパネル70にソフトキーボードを表示し、表示したソフトキーボードを制御する。

【0065】

図3では、ネットファイルアプリ25またはSCS38のシステム初期設定機能302が、UCS37にユーザ情報の追加、変更または削除などの更新要求を行うことで、ユーザ情報を更新する。

【0066】

図3のUCS37は、ユーザ情報が利用されているときにユーザ情報の更新要求が起きた場合、ユーザ情報が更新されているときにユーザ情報の取得要求が起きた場合、またはユーザ情報が更新されているときにユーザ情報の更新要求が起きた場合に対処するため、後述するようなリードロックまたはライトロックを行

う。

【0067】

リードロックとは、ユーザ情報の取得要求を行う前にユーザ情報の書き換え禁止をUCS37に要求するものである。なお、リードロックに対応するアンロックにより、ユーザ情報の書き換え禁止が解除される。

【0068】

また、ライトロックとはユーザ情報の更新要求を行う前にユーザ情報の読み出し禁止と、他のアプリなどからのユーザ情報の書き換え禁止とをUCS37に要求するものである。なお、ライトロックに対応するアンロックにより、ユーザ情報の読み出し禁止と書き換え禁止が解除される。

【0069】

次に、リードロックおよびライトロックの基本的な処理について説明する。図5は、リードロックの基本的な処理を表す一例のシーケンス図である。ステップS501では、スキャナアプリ24からUCS37に対してリードロックが行われている。ステップS502ではステップS501のリードロックに対するアンロックが行われる前に、スキャナアプリ24からUCS37に対してリードロックが行われている。

【0070】

このような同一アプリからの多重リードロックは、ユーザ情報が書き換え禁止であっても何ら問題が生じないため許可されている。ステップS501及びステップS502でリードロックを行ったあと、スキャナアプリ24とUCS37の間ではユーザ情報の取得要求および取得応答が繰り返し行われているが、図示を省略する。以下の説明でも同様に、スキャナアプリ24とUCS37との間で行われているユーザ情報の取得要求および取得応答の図示を省略する。

【0071】

ユーザ情報の取得が終了すると、スキャナアプリ24はステップS503およびステップS504でステップS501およびステップS502に対応するアンロックをUCS37に行って、ユーザ情報の取得処理を終了する。

【0072】

また、図6はリードロックの基本的な処理を表す他の一例のシーケンス図である。ステップS601では、スキャナアプリ24からUCS37に対してリードロックが行われている。ステップS602ではステップS601のリードロックに対するアンロックが行われる前に、ファックスアプリ23からUCS37に対してリードロックが行われている。

【0073】

このような異なるアプリからの多重リードロックは、ユーザ情報が書き換え禁止であっても何ら問題が生じないため許可されている。なお、ステップS601及びステップS602でリードロックを行ったあと、ファックスアプリ23およびスキャナアプリ24とUCS37の間ではユーザ情報の取得要求および取得応答が繰り返し行われる。

【0074】

ユーザ情報の取得が終了すると、ファックスアプリ23はステップS603でステップS602に対応するアンロックをUCS37に行って、ユーザ情報の取得処理を終了する。また、スキャナアプリ24はステップS604でステップS601に対応するアンロックをUCS37に行って、ユーザ情報の取得処理を終了する。

【0075】

図7は、ライトロックの基本的な処理を表す一例のシーケンス図である。ステップS701では、スキャナアプリ24からUCS37に対してライトロックが行われている。ステップS702ではステップS701のライトロックに対するアンロックが行われる前に、スキャナアプリ24からUCS37に対してライトロックが行われている。

【0076】

このような同一アプリからの多重ライトロックは、更新後のユーザ情報に矛盾が生じるなどの問題が生じるため許可されていない。したがって、ステップS702のライトロックは拒絶される。ステップS701でライトロックを行ったあと、スキャナアプリ24とUCS37の間ではユーザ情報の更新要求および更新応答が繰り返し行われているが、図示を省略する。以下の説明でも同様に、ス

キャナアプリ 24 と UCS 37 との間で行われているユーザ情報の更新要求および更新応答の図示を省略する。

【0077】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ 24 はステップ S 703 でステップ S 701 に対応するアンロックを UCS 37 に行って、ユーザ情報の更新処理を終了する。

【0078】

また、図 8 はライトロックの基本的な処理を表す他の一例のシーケンス図である。ステップ S 801 では、スキャナアプリ 24 から UCS 37 に対してライトロックが行われている。ステップ S 802 ではステップ S 801 のライトロックに対するアンロックが行われる前に、ファックスアプリ 23 から UCS 37 に対してライトロックが行われている。

【0079】

このような異なるアプリからの多重ライトロックは、更新後のユーザ情報に矛盾が生じるなどの問題が生じるため許可されていない。したがって、ステップ S 802 のライトロックは拒絶される。なお、ステップ S 801 でライトロックを行ったあと、スキャナアプリ 24 と UCS 37 との間ではユーザ情報の更新要求および更新応答が繰り返し行われる。

【0080】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ 24 はステップ S 803 でステップ S 801 に対応するアンロックを UCS 37 に行って、ユーザ情報の更新処理を終了する。

【0081】

図 9 は、リードロックおよびライトロックの基本的な処理を表す一例のシーケンス図である。ステップ S 901 では、スキャナアプリ 24 から UCS 37 に対してリードロックが行われている。ステップ S 902 ではステップ S 901 のリードロックに対するアンロックが行われる前に、ファックスアプリ 23 から UCS 37 に対してライトロックが行われている。

【0082】

このようなリードロックがアンロックされる前のライトロックは、ユーザ情報が書き換え禁止であるため許可されていない。したがって、ステップS902のライトロックは拒絶される。なお、ステップS901でリードロックを行ったあと、スキャナアプリ24とUCS37との間ではユーザ情報の取得要求および取得応答が繰り返し行われる。

【0083】

ユーザ情報の取得が終了すると、スキャナアプリ24はステップS903でステップS901に対応するアンロックをUCS37に行って、ユーザ情報の取得処理を終了する。

【0084】

また、図10はリードロックおよびライトロックの基本的な処理を表す他の一例のシーケンス図である。ステップS1001では、スキャナアプリ24からUCS37に対してライトロックが行われている。ステップS1002ではステップS1001のライトロックに対するアンロックが行われる前に、ファックスアプリ23からUCS37に対してリードロックが行われている。

【0085】

このようなライトロックがアンロックされる前のリードロックは、ユーザ情報が読み出し禁止であるため許可されていない。したがって、ステップS1002のリードロックは拒絶される。なお、ステップS1001でライトロックを行ったあと、スキャナアプリ24とUCS37との間ではユーザ情報の更新要求および更新応答が繰り返し行われる。

【0086】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ24はステップS1003でステップS1001に対応するアンロックをUCS37に行って、ユーザ情報の更新処理を終了する。

【0087】

次に、ライトロックが行われたときにユーザ情報が更新された旨をファックスアプリ23などに通知する変化通知処理について説明する。図11は、ユーザ情報の変化通知処理を表す一例のシーケンス図である。

【0088】

ステップS1101では、スキャナアプリ24からUCS37に対してライトロックが行われている。ステップS1102では、UCS37が、ユーザ情報の更新開始をスキャナアプリ24に通知する。また、ステップS1103では、UCS37が、ユーザ情報の更新開始をファックスアプリ23に通知する。ユーザ情報の更新開始を通知されることで、ファックスアプリ23およびスキャナアプリ24はユーザ情報が更新される可能性を認識する。

【0089】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ24はステップS1104でステップS1101に対応するアンロックをUCS37に行う。ステップS1105では、UCS37が、ユーザ情報の更新終了をスキャナアプリ24に通知する。また、ステップS1106では、UCS37が、ユーザ情報の更新終了をファックスアプリ23に通知する。

【0090】

ユーザ情報の更新終了を通知されることで、ファックスアプリ23およびスキャナアプリ24はユーザ情報が更新されたことを認識する。ユーザ情報の更新終了を通知されたあと、ファックスアプリ23、スキャナアプリ24などは更新済みのユーザ情報を取得する。

【0091】

なお、ユーザ情報の更新開始を通知されてから更新終了を通知されるまで、ファックスアプリ23、スキャナアプリ24などは、画面310、画面320の表示要求が起きた場合、画面310、画面320の代わりにユーザ情報が更新中である旨を表示する画面をオペレーションパネル70に表示する。例えばスキャナアプリ24は、図12のような画面をオペレーションパネル70に表示する。図12は、更新開始通知画面の一例のイメージ図である。

【0092】

また、ユーザ情報の更新終了を通知されると、ファックスアプリ23、スキャナアプリ24などは、ユーザ情報が更新された旨を表示する画面をオペレーションパネル70に表示する。例えばスキャナアプリ24は、図13のような画面を

オペレーションパネル 70 に表示する。図 13 は、更新終了通知画面の一例のイメージ図である。

【0093】

ファックスアプリ 23, スキャナアプリ 24 などは、図 12 および図 13 のような画面をオペレーションパネル 70 に表示することで、オペレータにユーザ情報の更新開始および更新終了を通知している。

【0094】

ところで、図 8 のステップ S802 ではステップ S801 のライトロックに対するアンロックが行われる前に、ファックスアプリ 23 から UCS 37 に対してライトロックが行われているため、ファックスアプリ 23 が行ったライトロックが拒絶されている。したがって、ファックスアプリ 23 は再びライトロックを UCS 37 に行わなければならなかった。

【0095】

また、図 9 のステップ S902 ではステップ S901 のリードロックに対するアンロックが行われる前に、ファックスアプリ 23 から UCS 37 に対してライトロックが行われているため、ファックスアプリ 23 が行ったライトロックが拒絶されている。したがって、ファックスアプリ 23 は再びライトロックを UCS 37 に行わなければならなかった。

【0096】

また、図 10 のステップ S1002 ではステップ S1001 のライトロックに対するアンロックが行われる前に、ファックスアプリ 23 から UCS 37 に対してリードロックが行われているため、ファックスアプリ 23 が行ったリードロックが拒絶されている。したがって、ファックスアプリ 23 は再びリードロックを UCS 37 に行わなければならなかった。

【0097】

図 8～図 10 の例では、ライトロックまたはリードロックが拒絶されると、再びファックスアプリ 23 がライトロックまたはリードロックを UCS 37 に対して行う必要があり、処理が冗長になっていた。

【0098】

そこで、本発明による共有データ管理方法では、拒絶されたライトロックまたはリードロックを図14のように管理し、拒絶されたライトロックまたはリードロックが、拒絶の理由がなくなったあとで行われるようにライトロック予約またはリードロック予約を行っている。

【0099】

図14は、拒絶されたライトロックまたはリードロックの管理について説明するための図である。UCS37は、例えばファックスアプリ23やスキャナアプリ24からのライトロックまたはリードロックが行われると、そのライトロックまたはリードロックを行ったファックスアプリ23やスキャナアプリ24の情報を、ロックの状態を管理するリードロックキューまたはライトロックキューに並べて格納する。

【0100】

例えば図14では、リードロックがAアプリ、Bアプリ、Aアプリ、Cアプリの順番で行われ、ライトロックがDアプリ、Eアプリの順番で行われたことを表している。なお、図14ではEアプリが行ったライトロックが拒絶され、ライトロック予約されている。

【0101】

したがって、UCS37は、図14のようにライトロック予約またはリードロック予約を行うことにより、拒絶の理由がなくなったあとでライトロックまたはリードロックを行うことができる。

【0102】

次に、ライトロック予約またはリードロック予約の処理について詳細に説明する。なお、ファックスアプリ23およびスキャナアプリ24はユーザ情報をオペレーションパネル70に表示することがあるものとする。また、ネットファイルアプリ(NFA)25はユーザ情報をオペレーションパネル70に表示することがないものとする。

【0103】

図15は、本発明によるライトロック予約処理を表す第1実施例のシーケンス図である。ステップS1501では、スキャナアプリ24からUCS37に対し

てライトロックが行われる。ステップS1502では、UCS37が、ユーザ情報の更新開始をスキャナアプリ24に通知する。

【0104】

なお、UCS37はユーザ情報の更新開始をネットファイルアプリ25に通知しない。ネットファイルアプリ25は、ユーザ情報や図12または図13の画面をオペレーションパネル70に表示することがないためである。

【0105】

ステップS1503では、ネットワーク機器331などからユーザ情報の書き換え要求が発生し、ネットファイルアプリ25からUCS37に対してライトロックが行われている。しかし、ステップS1503のライトロックは、ステップS1501のライトロックがアンロックされていないため、拒絶される。UCS37は、ステップS1503で拒絶されたライトロックを図14のように管理することで、ライトロック予約を行う。

【0106】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ24はステップS1504でステップS1501に対応するアンロックをUCS37に行う。ステップS1504では、ステップS1501のライトロックがアンロックされたため、ステップS1503でライトロックが拒絶された理由がなくなる。したがって、UCS37はライトロック予約に基づきステップS1503のライトロックを行う。

【0107】

ステップS1505では、UCS37が、ユーザ情報の更新開始をネットファイルアプリ25に通知する。ユーザ情報の更新が終了すると、ネットファイルアプリ25はステップS1506でステップS1503に対応するアンロックをUCS37に行う。ステップS1507では、UCS37が、ユーザ情報の更新終了をネットファイルアプリ25に通知する。また、ステップS1508では、UCS37が、ユーザ情報の更新終了をスキャナアプリ24に通知する。

【0108】

図15のライトロック予約処理では、拒絶の理由がなくなったあと、拒絶されたライトロックを自動的に行うことができる。

【0109】

図16は、本発明によるライトロック予約処理を表す第2実施例のシーケンス図である。ステップS1601では、スキャナアプリ24からUCS37に対してリードロックが行われる。

【0110】

ステップS1602では、ファックスアプリ23からUCS37に対してライトロックが行われている。しかし、ステップS1602のライトロックは、ステップS1601のリードロックがアンロックされていないため、拒絶される。UCS37は、ステップS1602で拒絶されたライトロックを図14のように管理することで、ライトロック予約を行う。

【0111】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ24はステップS1603でステップS1601に対応するアンロックをUCS37に行う。ステップS1603では、ステップS1601のリードロックがアンロックされたため、ステップS1602でライトロックが拒絶された理由がなくなる。したがって、UCS37はライトロック予約に基づきステップS1602のライトロックを行う。

【0112】

ステップS1604では、UCS37が、ユーザ情報の更新開始をスキャナアプリ24に通知する。また、ステップS1605ではUCS37が、ユーザ情報の更新開始をファックスアプリ23に通知する。

【0113】

ユーザ情報の更新が終了すると、ファックスアプリ23はステップS1606でステップS1602に対応するアンロックをUCS37に行う。ステップS1607では、UCS37が、ユーザ情報の更新終了をファックスアプリ23に通知する。また、ステップS1608では、UCS37が、ユーザ情報の更新終了をスキャナアプリ24に通知する。

【0114】

図16のライトロック予約処理では、拒絶の理由がなくなったあと、拒絶されたライトロックを自動的に行うことができる。

【0115】

図17は、本発明によるリードロック予約処理を表す第1実施例のシーケンス図である。ステップS1701では、スキャナアプリ24からUCS37に対してライトロックが行われる。ステップS1702では、UCS37が、ユーザ情報の更新開始をスキャナアプリ24に通知する。

【0116】

なお、UCS37はユーザ情報の更新開始をネットファイルアプリ25に通知しない。ネットファイルアプリ25は、ユーザ情報や図12または図13の画面をオペレーションパネル70に表示することがないためである。

【0117】

ステップS1703では、ネットワーク機器331などからユーザ情報の読み出し要求が発生し、ネットファイルアプリ25からUCS37に対してリードロックが行われている。しかし、ステップS1703のリードロックは、ステップS1701のライトロックがアンロックされていないため、拒絶される。UCS37は、ステップS1703で拒絶されたリードロックを図14のように管理することで、リードロック予約を行う。

【0118】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ24はステップS1704でステップS1701に対応するアンロックをUCS37に行う。ステップS1704では、ステップS1701のライトロックがアンロックされたため、ステップS1703でリードロックが拒絶された理由がなくなる。したがって、UCS37はリードロック予約に基づきステップS1703のリードロックを行う。

【0119】

ステップS1705では、UCS37が、ユーザ情報の更新終了をスキャナアプリ24に通知する。ユーザ情報の取得が終了すると、ネットファイルアプリ25はステップS1706でステップS1703に対応するアンロックをUCS37に行う。

【0120】

図17のリードロック予約処理では、拒絶の理由がなくなったあと、拒絶され

たリードロックを自動的に行うことができる。

【0121】

ところで、UCS 37に対して行ったリードロックはリードロックに対応するアンロックにより解除する必要がある。また、UCS 37に対して行ったライトロックはライトロックに対応するアンロックにより解除する必要がある。

【0122】

しかしながら、同一アプリがUCS 37に対してリードロックおよびライトロックを連続して行う場合、先に行ったリードロックまたはライトロックに対応するアンロックを以下のように省略できる。

【0123】

図18は、本発明によるアンロック省略処理を表す第1実施例のシーケンス図である。ステップS1801では、スキャナアプリ24からUCS 37に対してリードロックが行われる。ユーザ情報の読み出しが終了すると、スキャナアプリ24はステップS1802で、UCS 37に対してライトロックを行う。

【0124】

即ち、ステップS1801のリードロックとステップS1802のライトロックとは、同一のスキャナアプリ24により行われる。このように、同一のスキャナアプリ24がステップS1801でリードロックを行ったあとステップS1802でライトロックを連続して行う場合、後に行うステップS1802のライトロックにステップS1801のリードロックに対応するアンロックの役割を持たせることができる。

【0125】

したがって、同一のスキャナアプリ24がリードロックを行ったあとでライトロックを連続して行う場合、先に行ったステップS1801のリードロックに対応するアンロックを省略できる。

【0126】

ステップS1803では、UCS 37が、ユーザ情報の更新開始をスキャナアプリ24に通知する。また、ステップS1804ではUCS 37が、ユーザ情報の更新開始をファックスアプリ23に通知する。

【0127】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ 24 はステップ S1805 でステップ S1802 に対応するアンロックを UCS37 に行う。ステップ S1806 では、UCS37 が、ユーザ情報の更新終了をスキャナアプリ 24 に通知する。また、ステップ S1807 では UCS37 が、ユーザ情報の更新終了をファックスアプリ 23 に通知する。

【0128】

図 18 のアンロック省略処理では、同一のスキャナアプリ 24 がリードロックを行ったあとでライトロックを連続して行う場合、先に行ったステップ S1801 のリードロックに対応するアンロックを省略できる。

【0129】

図 19 は、本発明によるアンロック省略処理を表す第 2 実施例のシーケンス図である。ステップ S1901 では、スキャナアプリ 24 から UCS37 に対してライトロックが行われる。ステップ S1902 では、UCS37 が、ユーザ情報の更新開始をスキャナアプリ 24 に通知する。また、ステップ S1903 では UCS37 が、ユーザ情報の更新開始をファックスアプリ 23 に通知する。

【0130】

ユーザ情報の更新が終了すると、スキャナアプリ 24 はステップ S1904 で UCS37 に対してリードロックを行う。即ち、ステップ S1901 のライトロックとステップ S1904 のリードロックとは、同一のスキャナアプリ 24 により行われる。

【0131】

このように、同一のスキャナアプリ 24 がステップ S1901 でライトロックを行ったあとステップ S1904 でリードロックを連続して行う場合、後に行うステップ S1904 のリードロックにステップ S1901 のライトロックに対応するアンロックの役割を持たせることができる。

【0132】

したがって、同一のスキャナアプリ 24 がライトロックを行ったあとでリードロックを連続して行う場合、先に行ったステップ S1901 のライトロックに対

応するアンロックを省略できる。

【0133】

ステップS1905では、UCS37が、ユーザ情報の更新終了をスキャナアプリ24に通知する。また、ステップS1906ではUCS37が、ユーザ情報の更新終了をファックスアプリ23に通知する。そして、ユーザ情報の取得が終了すると、スキャナアプリ24はステップS1907でステップS1904に対応するアンロックをUCS37に行う。

【0134】

図19のアンロック省略処理では、同一のスキャナアプリ24がライトロックを行ったあとでリードロックを連続して行う場合、先に行ったステップS1901のライトロックに対応するアンロックを省略できる。

【0135】

図18および図19のアンロック省略処理を利用することで、リードロックまたはライトロックなどのロックの状態は図20のように遷移する。図20は、ロックの一例の状態遷移図である。

【0136】

例えばスキャナアプリ24などのアプリはイニシャライズ（初期化）処理により停止状態からレディー状態に遷移する。レディー状態のアプリは、UCS37に対してアプリ利用申請処理を行うことによりレディー状態から待機中状態に遷移する。

【0137】

待機中状態のアプリは、UCS37に対してリードロックまたはライトロックを行うことにより待機中状態からリードロック状態またはライトロック状態に遷移する。なお、リードロック状態のアプリまたはライトロック状態のアプリはアンロックを行うことによりリードロック状態またはライトロック状態から待機中状態に遷移する。リードロック状態のアプリは、UCS37に対してリードロックを行ってもリードロック状態のままである。

【0138】

一方、リードロック状態のアプリは、図18のアンロック省略処理を利用して

ライトロックを行うことで、アンロックを省略してリードロック状態からライトロック状態に遷移する。また、ライトロック状態のアプリは、図19のアンロック省略処理を利用してリードロックを行うことで、アンロックを省略してライトロック状態からリードロック状態に遷移する。

【0139】

本発明は上記の実施例に限定されるものではなく、本発明の範囲内で種々の変形や変更が可能である。

【0140】

【発明の効果】

上述の如く、本発明によれば、共有データの更新要求や取得要求を効率的に行うことができ、融合機のリソースを浪費することなく書き換え可能な共有データを管理することが可能な画像形成装置、共有データ管理方法および共有データ管理システムを提供できる。

【0141】

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明による融合機の一実施例の構成図である。

【図2】

本発明による融合機の一実施例のハードウェア構成図である。

【図3】

本発明による共有データ管理方法を説明するためのシステム構成図である。

【図4】

ユーザ情報の一例の構成図である。

【図5】

リードロックの基本的な処理を表す一例のシーケンス図である。

【図6】

リードロックの基本的な処理を表す他の一例のシーケンス図である。

【図7】

ライトロックの基本的な処理を表す一例のシーケンス図である。

【図 8】

ライトロックの基本的な処理を表す他の一例のシーケンス図である。

【図 9】

リードロックおよびライトロックの基本的な処理を表す一例のシーケンス図である。

【図 10】

リードロックおよびライトロックの基本的な処理を表す他の一例のシーケンス図である。

【図 11】

ユーザ情報の変化通知処理を表す一例のシーケンス図である。

【図 12】

更新開始通知画面の一例のイメージ図である。

【図 13】

更新終了通知画面の一例のイメージ図である。

【図 14】

拒絶されたライトロックまたはリードロックの管理について説明するための図である。

【図 15】

本発明によるライトロック予約処理を表す第 1 実施例のシーケンス図である。

【図 16】

本発明によるライトロック予約処理を表す第 2 実施例のシーケンス図である。

【図 17】

本発明によるリードロック予約処理を表す第 1 実施例のシーケンス図である。

【図 18】

本発明によるアンロック省略処理を表す第 1 実施例のシーケンス図である。

【図 19】

本発明によるアンロック省略処理を表す第 2 実施例のシーケンス図である。

【図 20】

ロックの一例の状態遷移図である。

【符号の説明】

- 1 融合機
- 2 ソフトウェア群
- 3 融合機起動部
- 4 ハードウェア資源
- 5 アプリケーション層
- 6 プラットフォーム
- 9 コントロールサービス層
- 10 ハンドラ層
- 11 白黒レーザプリンタ (B & W L P)
- 12 カラーレーザプリンタ (C o l o r L P)
- 13 ハードウェアリソース
- 21 プリンタアプリ
- 22 コピーアプリ
- 23 ファックスアプリ
- 24 スキャナアプリ
- 25 ネットファイルアプリ
- 31 ネットワークコントロールサービス (N C S)
- 32 デリバリーコントロールサービス (D C S)
- 33 オペレーションパネルコントロールサービス (O C S)
- 34 ファックスコントロールサービス (F C S)
- 35 エンジンコントロールサービス (E C S)
- 36 メモリコントロールサービス (M C S)
- 37 ユーザインフォメーションコントロールサービス (U C S)
- 38 システムコントロールサービス (S C S)
- 39 システムリソースマネージャ (S R M)
- 40 ファックスコントロールユニットハンドラ (F C U H)
- 41 イメージメモリハンドラ (I M H)
- 53 アプリケーションプログラムインターフェース (A P I)

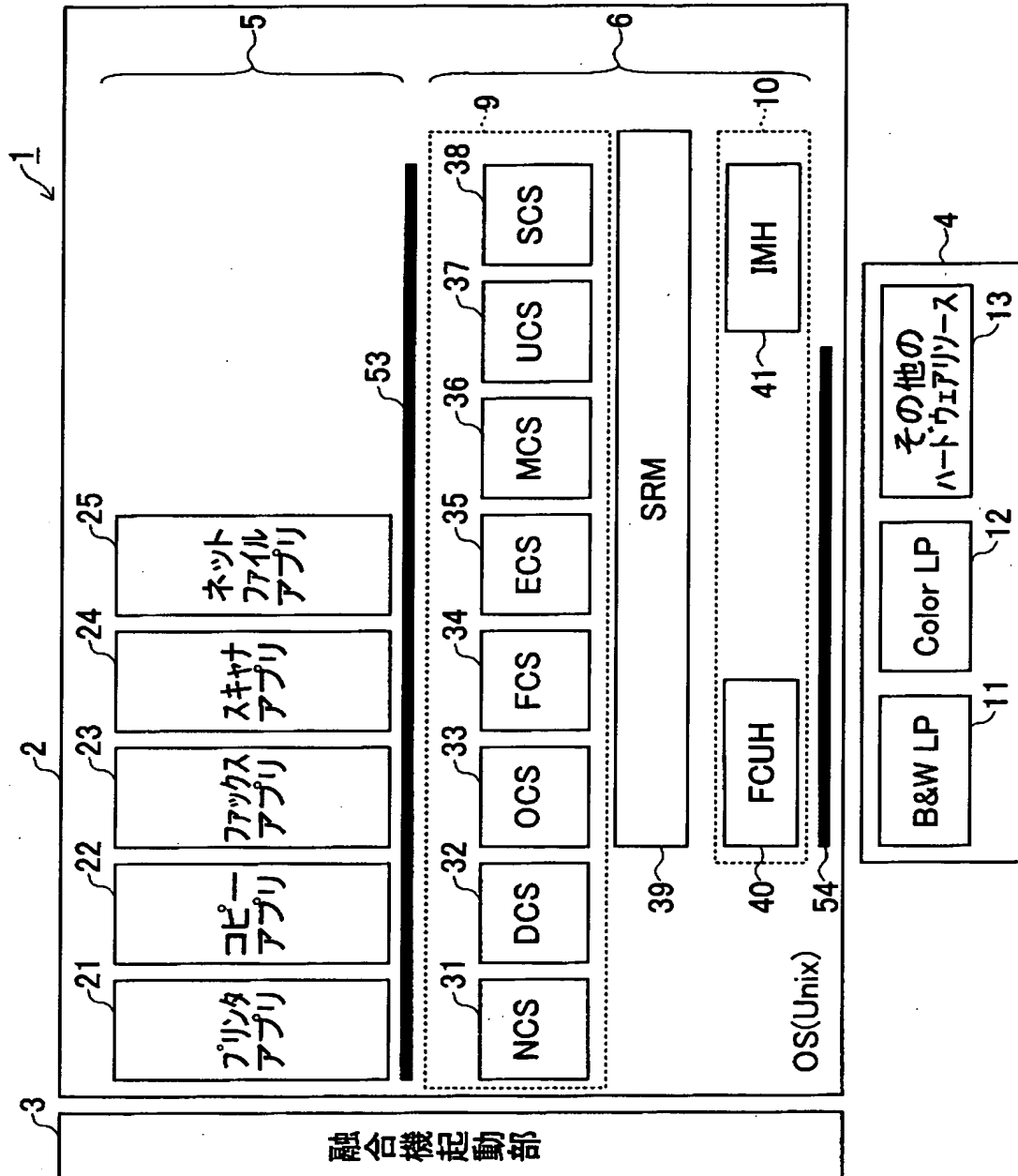
- 5 4 エンジン I / F
- 6 0 コントローラ
- 6 1 C P U
- 6 2 システムメモリ (MEM-P)
- 6 3 ノースブリッジ (NB)
- 6 4 サウスブリッジ (SB)
- 6 5 A G P (Accelerated Graphics Port)
- 6 6 A S I C
- 6 7 ローカルメモリ (MEM-C)
- 6 8 ハードディスク装置 (HDD)
- 6 9 ネットワークインターフェースコントローラ
- 7 0 オペレーションパネル
- 8 0 ファックスコントロールユニット (FCU)
- 9 0 U S B デバイス
- 1 0 0 I E E E 1 3 9 4 デバイス
- 1 1 0 エンジン部
- 3 3 0 ネットワーク
- 3 3 1, 3 3 2 ネットワーク機器

【書類名】

図面

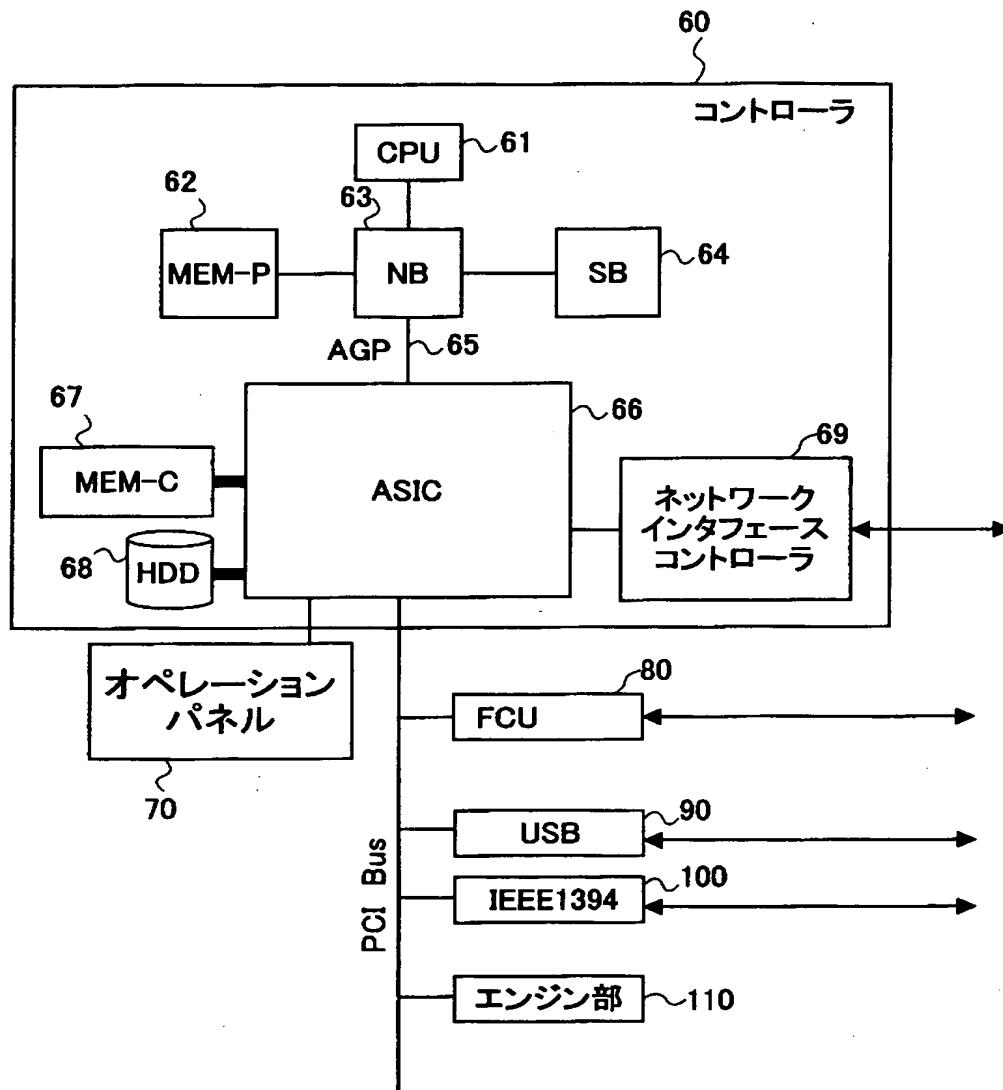
【図 1】

本発明による融合機の一実施例の構成図



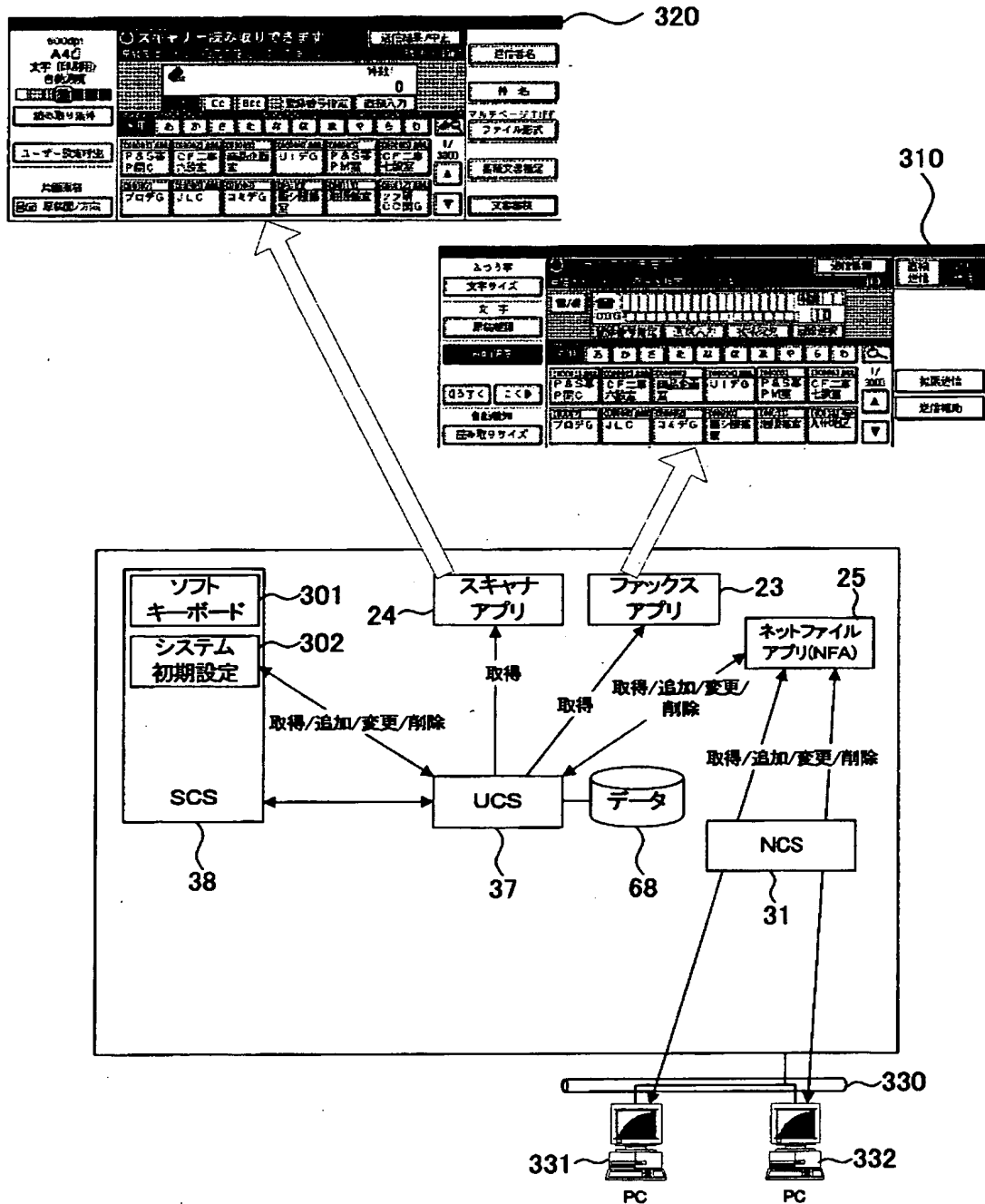
【図 2】

本発明による融合機の一実施例のハードウェア構成図



【図 3】

本発明による共有データ管理方法を
説明するためのシステム構成図



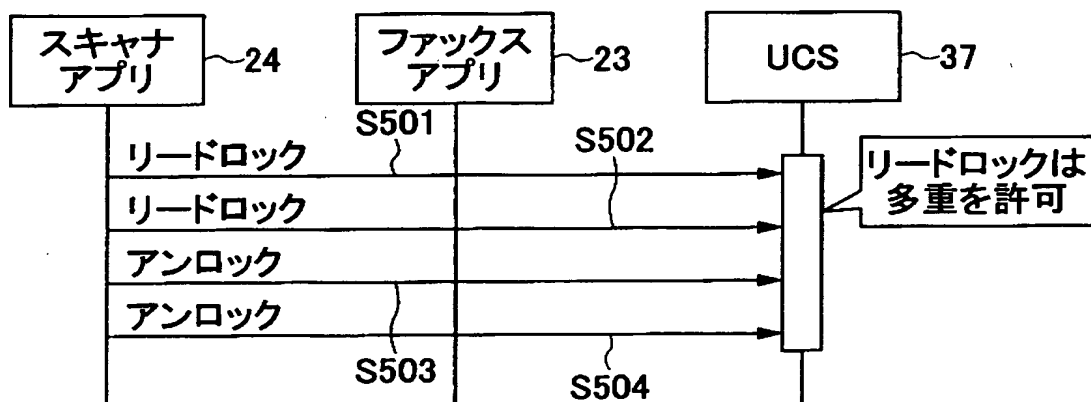
【図 4】

ユーザ情報の一例の構成図

	エントリ ID件数	見出し 情報	ユーザ コード 情報	メール情報	ファックス 情報	グループ 情報	中継 情報	認証 情報	並び順 入れ替え
コピー	100	あ・か・さ・た ...	12345678						不可
コピー+ファックス	710	あ・か・さ・た ...	12345678		03-1234-56 78	メンバ\IDリスト: 1,5,9...	#10		可
コピー+ファックス +スキャナ	2110	あ・か・さ・た ...	12345678	address@ricoh. co.jp	03-1234-56 78	メンバ\IDリスト: 1,5,9...	#10	password	可
コピー+スキャナ	2100	あ・か・さ・た ...	12345678	address@ricoh. co.jp		メンバ\IDリスト: 1,5,9...		password	可

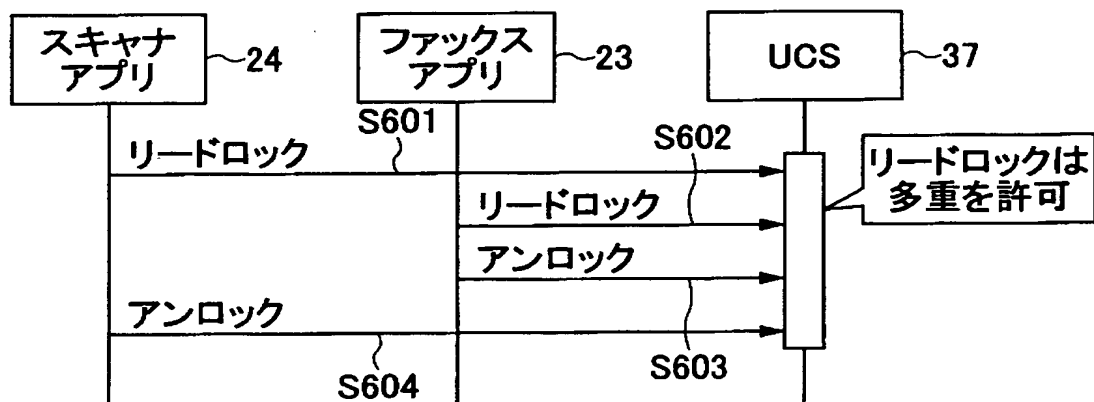
【図 5】

リードロックの基本的な処理を表す一例のシーケンス図



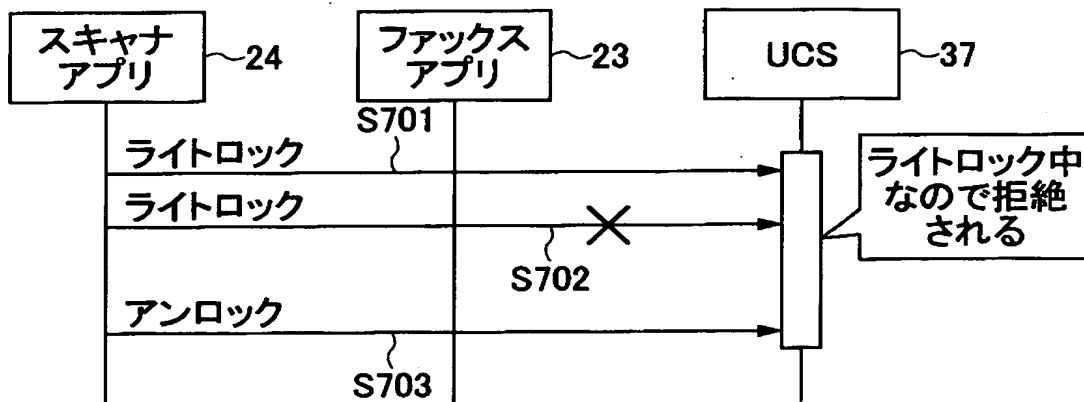
【図 6】

リードロックの基本的な処理を表す他の一例のシーケンス図



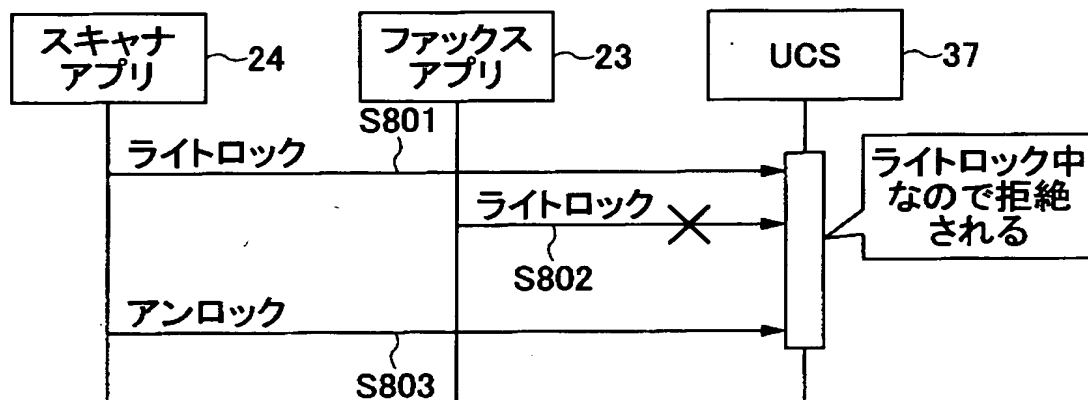
【図 7】

ライトロックの基本的な処理を表す一例のシーケンス図



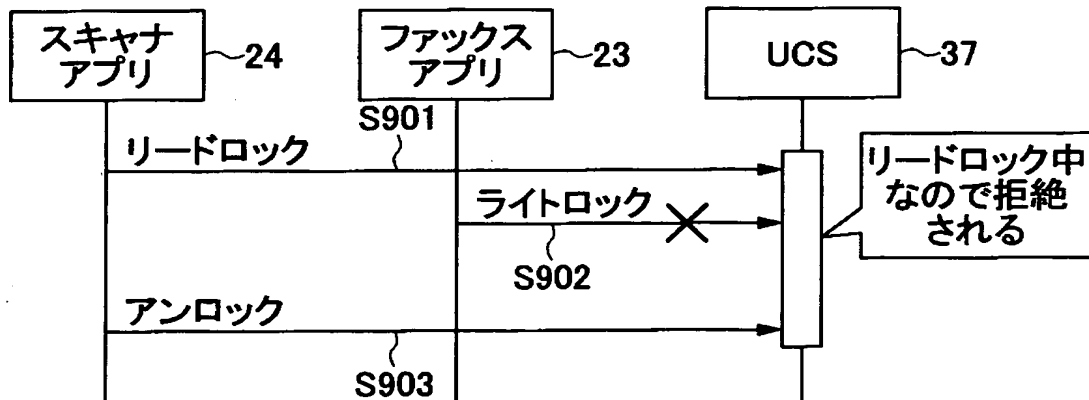
【図 8】

ライトロックの基本的な処理を表す他の一例のシーケンス図



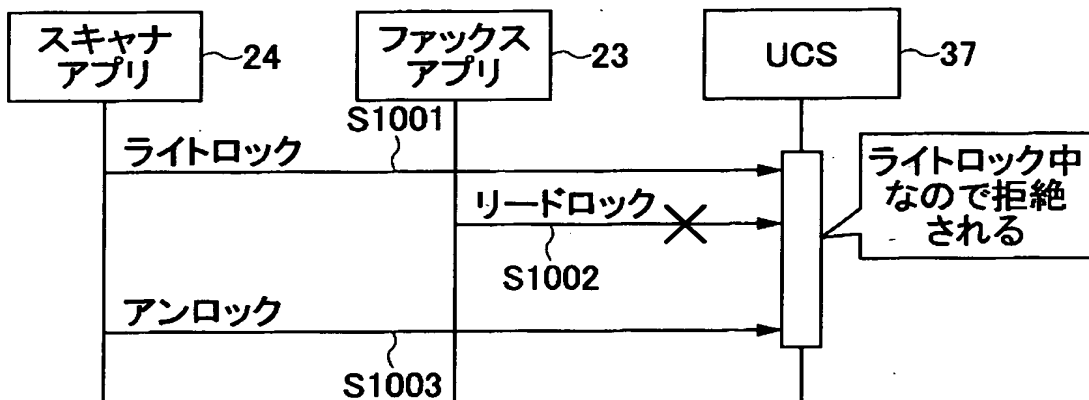
【図 9】

リードロックおよびライトロックの基本的な
処理を表す一例のシーケンス図



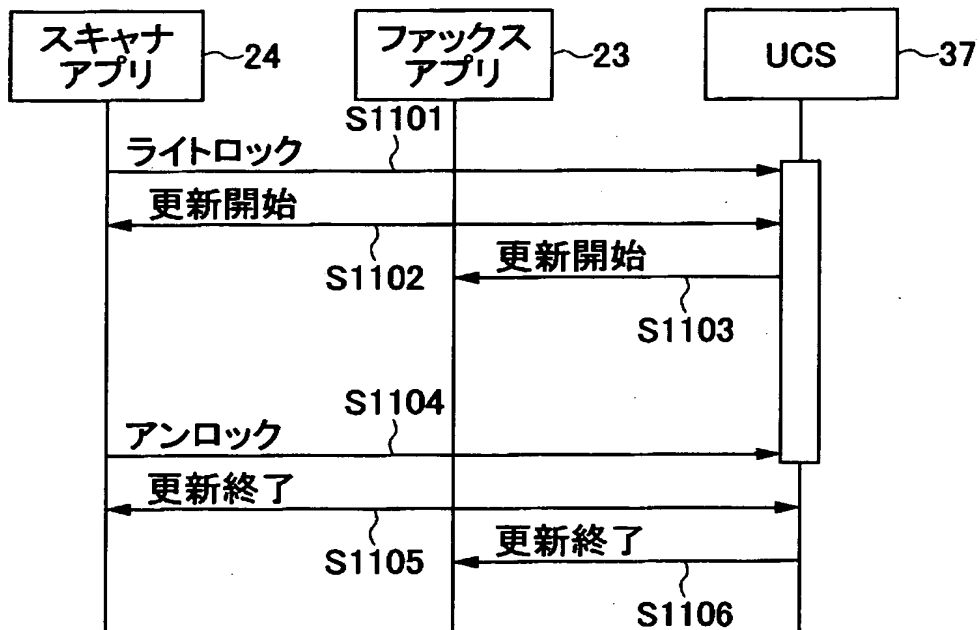
【図 10】

リードロックおよびライトロックの基本的な
処理を表す他の一例のシーケンス図



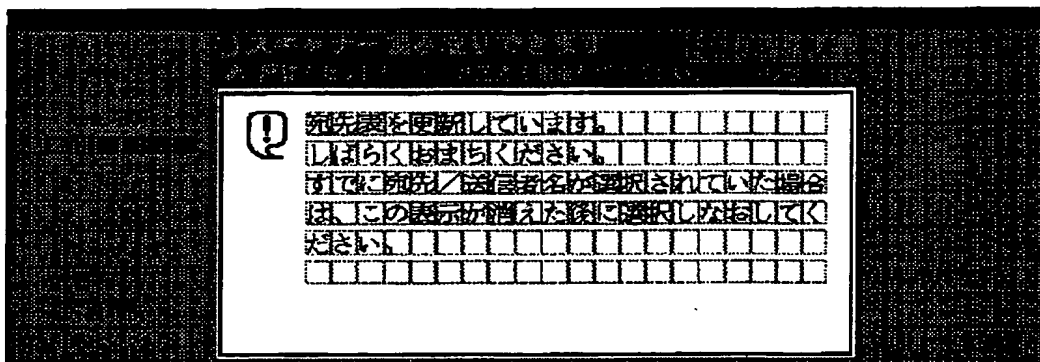
【図 11】

ユーザ情報の変化通知処理を表す一例のシーケンス図



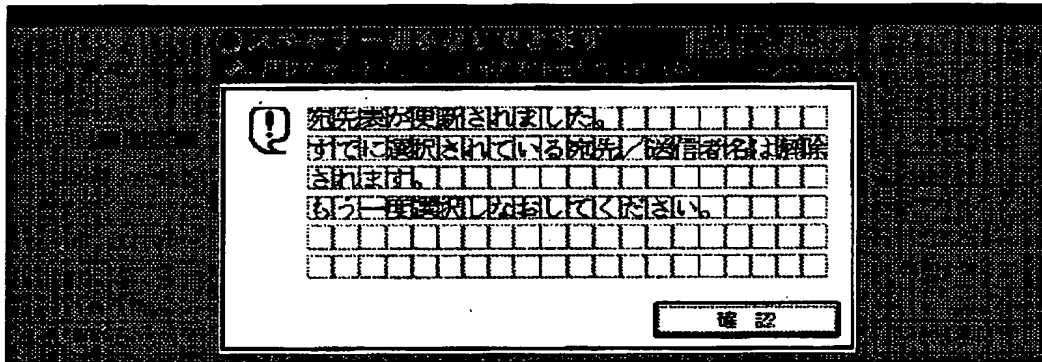
【図 12】

更新開始通知画面の一例のイメージ図



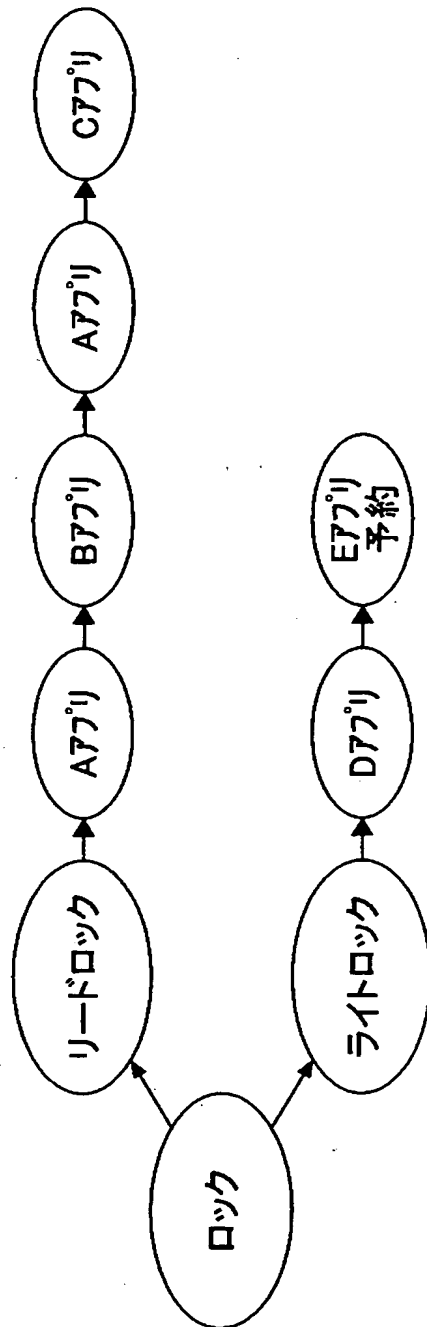
【図 13】

更新終了通知画面の一例のイメージ図

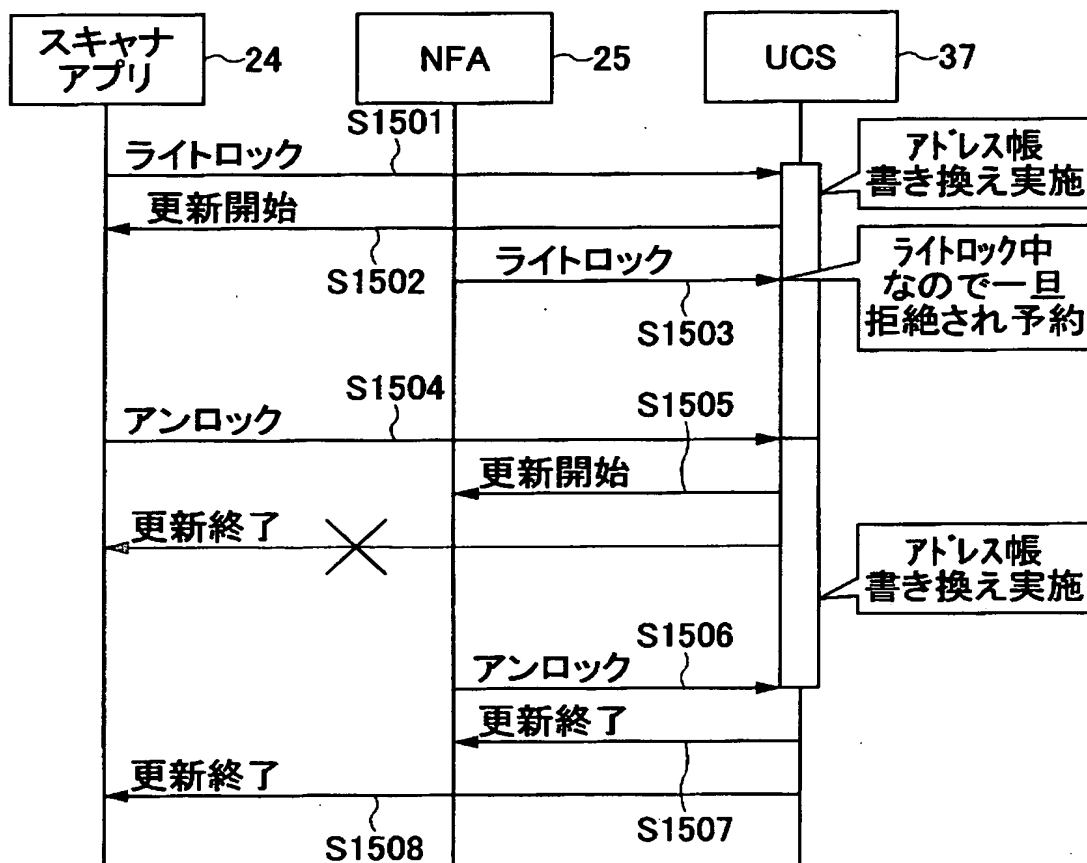


【図 14】

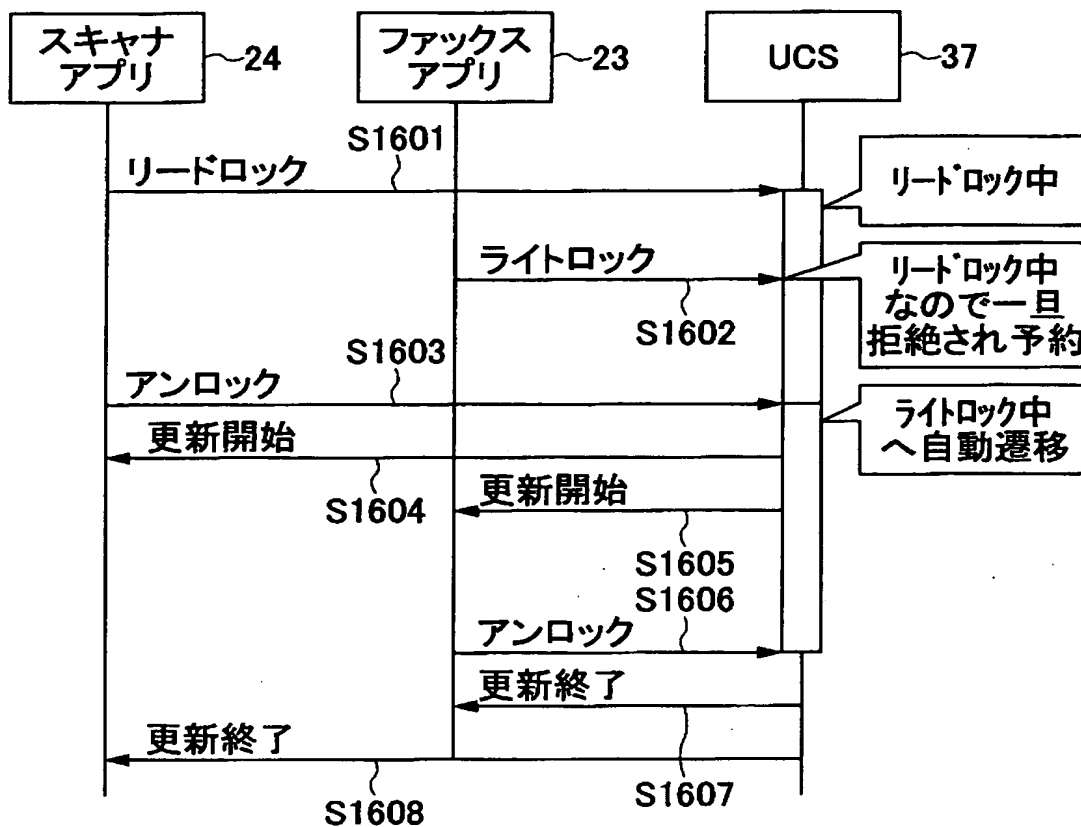
拒絶されたライトロックまたはリードロックの
管理について説明するための図



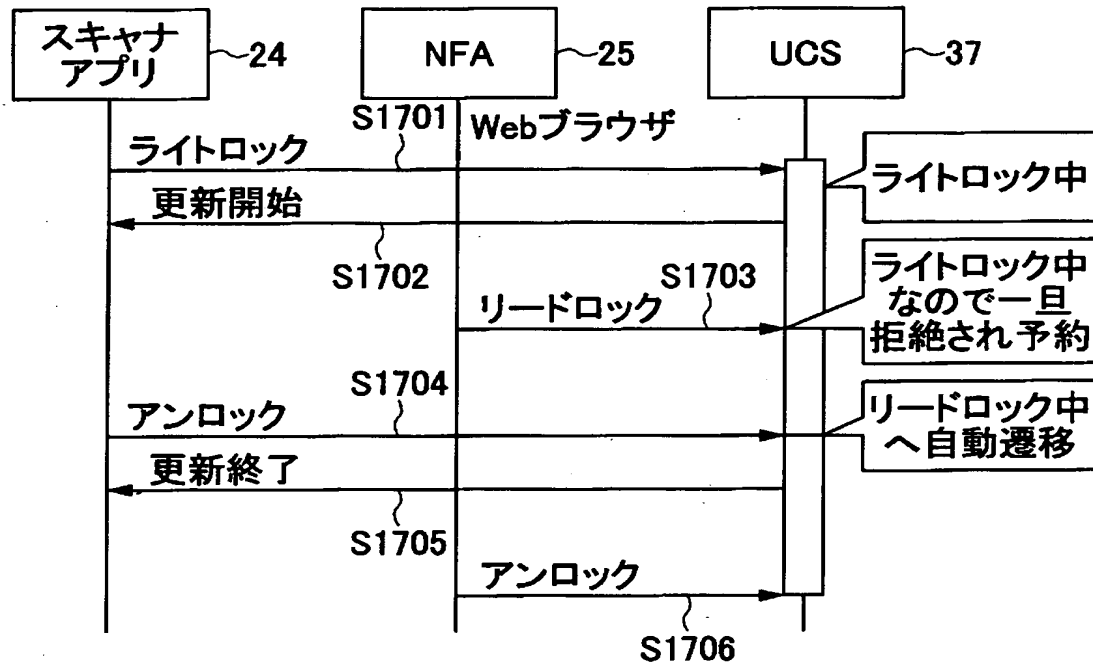
【図15】

本発明によるライトロック予約処理を表す
第1実施例のシーケンス図

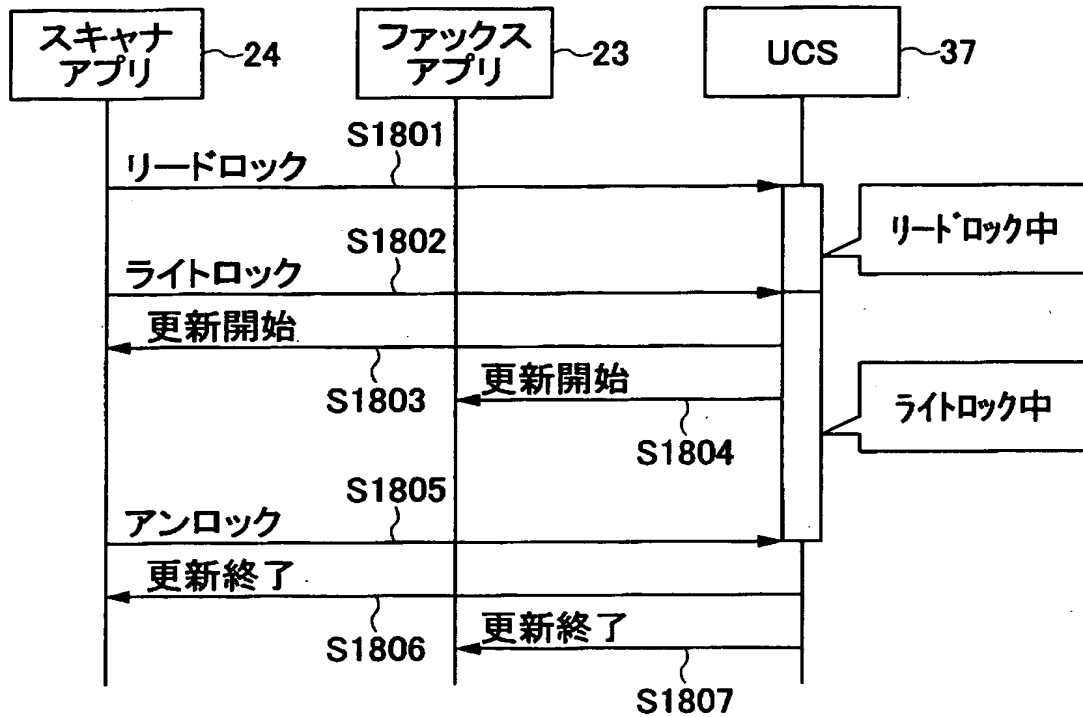
【図16】

本発明によるライトロック予約処理を表す
第2実施例のシーケンス図

【図17】

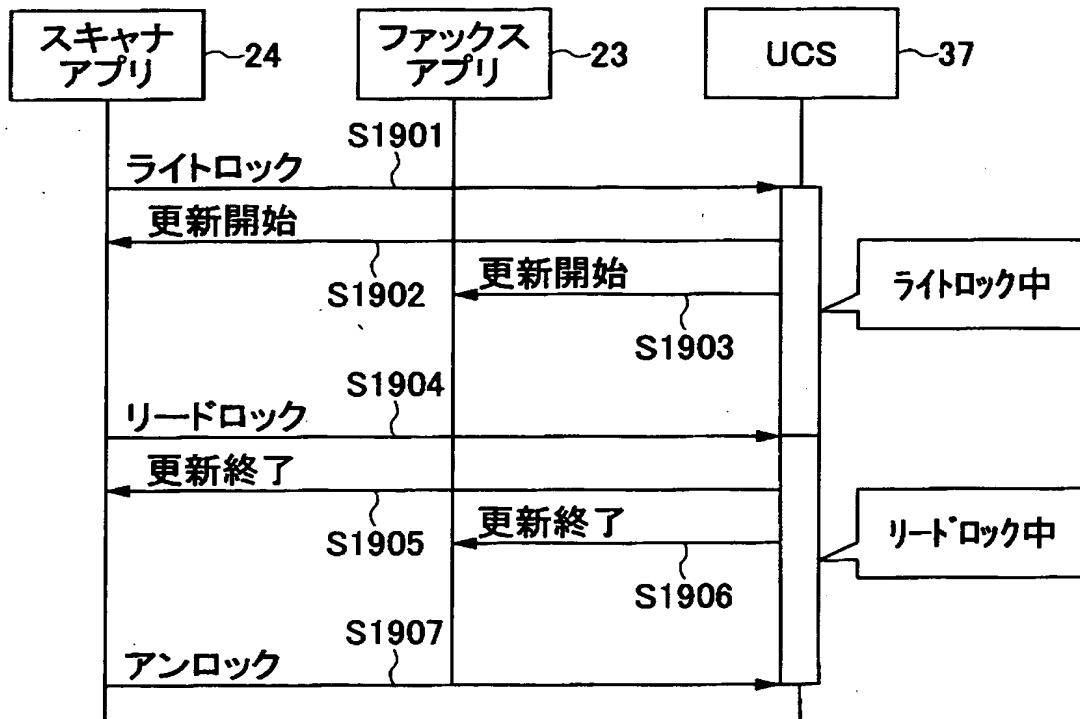
本発明によるリードロック予約処理を表す
第1実施例のシーケンス図

【図18】

本発明によるアンロック省略処理を表す
第1実施例のシーケンス図

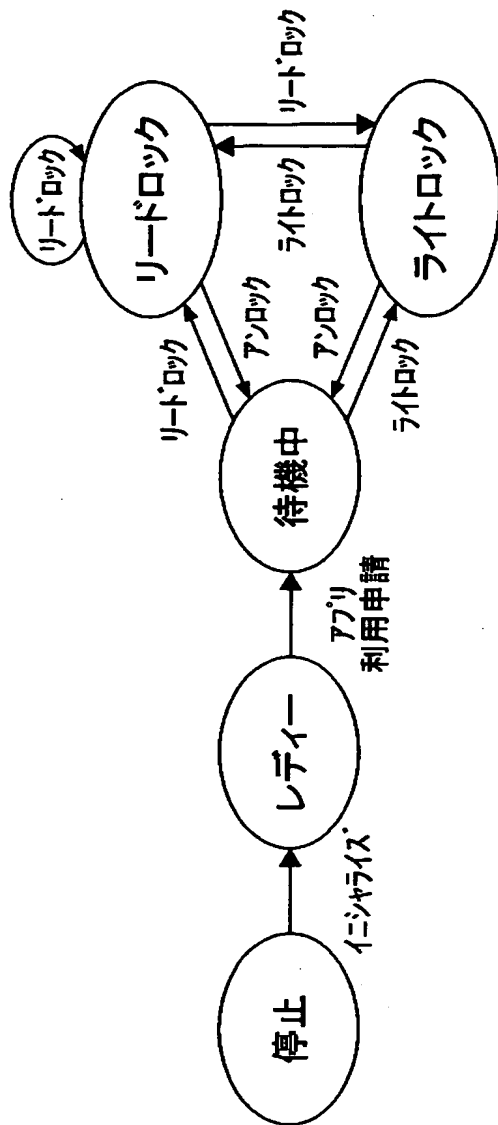
【図19】

本発明によるアンロック省略処理を表す
第2実施例のシーケンス図



【図 20】

ロックの一例の状態遷移図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 共有データの更新要求や取得要求を効率的に行うことができ、融合機のリソースを浪費することなく書き換え可能な共有データを管理することが可能な画像形成装置、共有データ管理方法および共有データ管理システムを提供することを目的とする。

【解決手段】 共有データを有する画像形成装置であって、共有データの更新が禁止されているときに（S1501～S1502）、共有データに対する更新開始要求を受信すると更新開始要求を保留し（S1503）、共有データの更新が可能となると（S1504）、保留した更新開始要求に応じて共有データの取得を禁止する（S1505～S1506）ことにより上記課題を解決する。

【選択図】 図15

特願 2 0 0 2 - 2 7 5 9 7 9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 6 7 4 7]

1. 変更年月日 1 9 9 0 年 8 月 2 4 日
 [変更理由] 新規登録
 住 所 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号
 氏 名 株式会社リコー

2. 変更年月日 2 0 0 2 年 5 月 1 7 日
 [変更理由] 住所変更
 住 所 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号
 氏 名 株式会社リコー